
白い天使と黒い悪魔

光ノ彼方

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白い天使と黒い悪魔

【Nコード】

N9549H

【作者名】

光ノ彼方

【あらすじ】

ある日出会った「天使」と「悪魔」。種族の違い、想いの交差を無視して進む

第1話 ロスト（前書き）

特殊な単語が出る場合があります

意味などはまた別の時に説明いたしますので

矛盾だらけ、日本語がオカシイかもしれません
それでもよろしかったら、お読みください

第1話 ロスト

「お困りのようね、バカ悪魔さん」

目を開けると、白い日傘をさした少女が俺をバカよばかりしていた

「で、どこ連れてくんだ？」

腕を光輪ヒウリンで拘束され、引きずられる俺

「家よ、文句ある？ バカ悪魔」

ひどいな、扱いもだが、会って1分も経ってないのにバカ扱いか

「ええ、電柱から足踏み外すような悪魔は、バカ悪魔よ」

トレースか…

引きずられるさなか、日傘の間から横顔が見えた

蒼い瞳、白い肌… まるで美しい人形の様だ

「あら、褒めてくれるのは嬉しいけど、こっち向かないでくれる？」

寒気がするの

何処までも毒舌なんだな、君は

「ところで君、名前は？」

まだ聞いてなかった

「無いわ、墜ちた時に取られたもの」

「落ちたって？何処に？」

穴かなんかだてんしに落ちたのかな

「本当にバカなのね、墮天使だてんしに成ったって意味よ、何よ、穴っつなるほど、なら名前をあげよう

「いらないわ、あなたから名をもらうだなんて、生涯の汚点だもの」
「はあ… なぜだろう、この子と話すと魂が削られてる気がする…
っ！」

「どうかしたの？ ……！ 早くしないと危ないわね」

「そうだな、早くどうにかしてくれ」

俺の体が、完全に消えさる前に

第1話 ロスト（後書き）

あとがき

まだまだ未熟者ですが、これからも応援よろしくお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9549h/>

白い天使と黒い悪魔

2010年10月27日02時01分発行